

令和2年度 事務事業評価(令和元年度実施事業事後評価)シート / 令和3年度 実施計画調書 (  新規  拡充  縮小  休止・廃止  現状維持 )

1 事務事業の基本情報											整理番号	053			
事務事業名	健康づくり対策事業費				補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算	会計名	一般会計	款	項	目	事業
担当部	保健福祉部	担当課	保健推進課		担当係	健康増進係						4	1	3	1
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画 (名称: 健康プランじょうそう)				根拠法令及び市条例等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称: 健康増進法・食育基本法) <input checked="" type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称: 第3次健康いばらき21プラン・茨城県食育推進計画(第三次)・茨城県歯科保健計画) <input type="checkbox"/> 市の条例・要綱・規則等 (名称: )									

2 事務事業の概要											☞ 予算事業全体について記入して下さい。				
対象	市民				内容・手段	①市民の健康づくりを推進するための施策を協議する健康づくり推進協議会を開催し、有識者や市民代表から意見をもとに健康増進に取り組む。 ②県医師会の生活習慣病予防対策推進事業費を一部負担し、生活習慣病の予防に向けた普及啓発を推進する。 ③食生活推進員協議会へ補助金を交付し、食育推進を目的とした教室等を開催して健康維持増進を図る。									
目的	健康増進計画「健康プランじょうそう」の基本理念である、すべての市民が、健やかでこころ豊かに生活できる常総市。														

3 事務事業の主たる成果指標											☞ 数値目標の設定が困難な場合は、文言目標でも結構です。なお、設定が困難な事業は空欄とし、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。				
指標名	とても健康、まあ健康と思っている人の割合		単位	%	目標値	80	目標年次	令和4	年度	指標及び目標値設定の考え方(または設定できない理由)					
											市民自ら健康と思えることは、健康づくりにおける意識と行動変容を促した結果につながる。				

4 事務事業の実績 ①																	
平成29年度					2年間の主な事業内容(実績)												
決算額					前年度(平成30年度)					今年度(令和元年度)							
458,787		円	内訳	特定財源	0	円	①健康づくり推進協議会の開催 1回 ②生活習慣病予防対策推進事業における講演会の開催 1回 ③食生活改善推進員養成講座の開催 1回 ④食生活改善推進員連絡協議会事務局事業 ⑤食生活改善推進員総会及び役員会の開催 ⑥食生活改善推進員中央研修会及び移動研修会の開催 ⑦食生活推進員事業 ・男性の料理教室 5回×2コース ・キッズクッキング 3回 ・県委託事業 3回 ・ふるさとまつり 1回 ・あすなろ秋まつり 1回					①健康づくり推進協議会の開催 1回 ②生活習慣病予防対策推進事業における講演会の開催 1回 ③食生活改善推進員連絡協議会事務局事業 ④食生活改善推進員総会及び役員会の開催 ⑤食生活改善推進員中央研修会及び移動研修会の開催 ⑥食生活改善推進員事業 ・男性の料理教室 5回 ・キッズクッキング 2回 ・県委託事業 3回 ・ふるさとまつり 1回 ⑦栄養教室(市管理栄養士による講話・調理実習) ・野菜をとろう 2回					
70		%	目標に対する実績値		75		%	目標に対する実績値									
8		円	(住民一人あたりの行政コスト)		7		円	(住民一人あたりの行政コスト)									
平成30年度					令和元年度												
430,957		円	内訳	特定財源	0	円	①健康づくり推進協議会の開催 協議会委員報酬費 ②生活習慣病予防対策推進事業負担金 ・生活習慣病予防講演会の開催 ③食生活改善推進員連絡協議会補助金 ④食生活改善推進員養成講座 1コース5回 ⑤食生活改善推進員の事務局及び活動の支援 ・総会・役員会・研修会・移動研修会 ・男性の料理教室開催の指導及び支援 ・キッズクッキング開催の指導及び支援 ・イベント参加の支援(ふるさと祭り等) ⑥市栄養士が栄養教室開催 ・食生活改善推進員に協力を得る										
76		%	目標に対する実績値		76		%	目標に対する実績値									
7		円	(住民一人あたりの行政コスト)		7		円	(住民一人あたりの行政コスト)									

5 担当課評価 ②											☞ 実施したことによる成果や課題を記入してください。				
成果	目標未達成														
成果内容分析	生活習慣病予防講演会で、当市の医療費上位を占める高血圧について専門医からの講話を実施した。予防方法や悪化防止について周知することができ、市民の健康維持に努めることができた。食生活改善推進事業では、教室やイベント等において、食の大切さを啓発することができた。														
課題	市民の健康に関する意識の確認は健康プランじょうそうの評価の3年後となるので、健康教室や講演会を実施ごとに、健康意識のアンケートを実施している。参加者は健康に関心があり、意識が高い市民と思われるので評価として信憑性が低い。常総市の健康課題を踏まえて市民一人ひとりが健康に関心をもち、主体的に健康に取り組むことができるような支援を検討していかななくてはならない。今年度は食生活改善推進の養成講座の希望者がいなかった。活動に参加する市民が増えるように、食生活改善推進の役割や活動などを周知していきたい。														

6 担当部長評価 ③											☞ 担当部長で協議のうえ、評価してください。				
事務事業の方向性											<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止				
評価理由	茨城県の委託事業をはじめ、常総市の事業への協力や自主事業を通じ、「食育アドバイザー」として子供から高齢者に至るまでの幅広い食育活動を担う、食生活改善推進員の養成と活動の推進は、地域において生活習慣病予防を普及するうえで必要である。草の根からの普及を推進するためにも継続した活動が重要となる。														

7 実施計画 ④											☞ 今後3年間について、何を・どの程度実施していくか具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。											
年度	令和2年度					令和3年度					令和4年度											
事業内容	●健康づくり推進協議会の開催 協議会委員報酬費 ●生活習慣病予防対策推進事業負担金 ・生活習慣病予防講演会の開催 ●食生活改善推進員連絡協議会補助金 ●食生活改善推進員養成講座 1コース5回 ●食生活改善推進員の事務局及び活動の支援 ・総会・役員会・研修会・移動研修会 ・男性の料理教室開催の指導及び支援 ・キッズクッキング開催の指導及び支援 ・イベント参加の支援(ふるさと祭り等) ●市栄養士が栄養教室開催 ・食生活改善推進員に協力を得る					●健康づくり推進協議会の開催 協議会委員報酬費 ●生活習慣病予防対策推進事業負担金 ・生活習慣病予防講演会の開催 ●食生活改善推進員連絡協議会補助金 ●食生活改善推進員養成講座 1コース5回 ・養成カリキュラム内の「身体活動・運動」の講師を運動指導士に依頼 ・@13,000×1回=13,000円増 ●食生活改善推進員の事務局及び活動の支援 ・総会・役員会・研修会・移動研修会 ・男性の料理教室開催の指導及び支援 ・キッズクッキング開催の指導及び支援 ・イベント参加の支援(ふるさと祭り等) ・食生活改善推進事業に伴う検便検査 ・@600×20人=12,000円増 ●市栄養士が栄養教室開催 ・食生活改善推進員に協力を得る					●健康づくり推進協議会の開催 協議会委員報酬費 ●生活習慣病予防対策推進事業負担金 ・生活習慣病予防講演会の開催 ●食生活改善推進員連絡協議会補助金 ●食生活改善推進員養成講座 1コース5回 ●食生活改善推進員の事務局及び活動の支援 ・総会・役員会・研修会・移動研修会 ・男性の料理教室開催の指導及び支援 ・キッズクッキング開催の指導及び支援 ・イベント参加の支援(ふるさと祭り等) ●市栄養士が栄養教室開催 ・食生活改善推進員に協力を得る											
	成果指標	とても健康、まあ健康と思っている人の割合		単位	%	目標値	76	指標名	とても健康、まあ健康と思っている人の割合		単位	%	目標値	78	指標名	とても健康、まあ健康と思っている人の割合		単位	%	目標値	80	
	予算額	歳出		計		532		千円	歳出		計		557		千円	歳出		計		557		千円
				特定財源		0		千円			特定財源		100		千円			特定財源		100		千円
		一般財源		532		千円			一般財源		457		千円			一般財源		457		千円		
		計		532		千円			計		557		千円			計		557		千円		

8 行政改革懇談会(市民)の意見										
担当部長評価のとおりでよい。市民の健康を守るためには、食の大切さを啓発すべきであり、食生活改善推進委員の知識や技術を周知できる場の創出が必要と考える。また、市民が主体的に食生活改善のための行動をするようになったか否かを調査するためのアプリ開発等も検討していただきたい。										

9 最終評価(行政改革推進本部) ⑤											☞ 実施計画のみ作成する場合も記入してください。				
事務事業の方向性											<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止				
評価理由	食生活改善事業は、生活習慣病の予防や重症化を防ぐために重要な事業である。市民に対し、食生活改善の重要性を伝えるためにも、生活習慣病予防講演会などの周知を積極的に推進されたい。														

10 事務事業の改善点と理由 ⑥											☞ 実施計画のみ作成する場合も記入してください。			
事業内容														